

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	富士あけぼの園 吉原中央・遊		
○保護者評価実施期間	令和6年9月2日		～ 令和6年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	令和6年9月2日		～ 令和6年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年10月9日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ SNSを通して情報伝達や情報共有を保護者の方で行っていること。	・ 保護者様に活動の様子を見ていただき楽しんで様子だけでなく、成長している姿を見ていただけるよう、工夫して作成を行っている。 ・ 新規児童の契約に繋げるよう週に1度投稿を行っている。	・ SNSの閲覧者数を数値化して視覚的に見えるようにすることで職員のモチベーションに繋げる。
2	・ 子供が自己選択できるような支援の工夫をし、自己決定する力を育てる支援を行っていること。	・ 毎日の活動を2パターンに分けて活動し利用者様にどちらの活動を行いたいかを選択できるようになっている。	・ それでも活動に参加できない利用者様のために個別プログラムを行うことでさらなる充実を図る。
3	・ 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会を確保している。	・ 月に1回以上施設内研修を行う中で、外部研修で得た情報等を共有する時間を取り入れている。	・ 研修担当者から聞いた情報をアップデートして次の研修に繋げるようにする。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解が不足している。	・ 職員間での情報共有の伝達が不足していた。	・ 就学時前の様子を事前に聞き入れることでより良い支援に繋がる。 ・ 情報共有の場を設定する。
2	・ 父・母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会が不足している。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援が不足している。	・ 新型コロナウイルスや感染症感染の観点から開催が難しかった。	・ 父母会の開催に向けて今後の感染症の様子を伺いながら可能であれば開催する。
3	・ 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営が不足している。	・ 新型コロナウイルスや感染症感染の観点から開催が難しかった。 ・ 施設で十分な広さの確保が難しかった。	・ 感染症対策を行いながら招待できるよう対策を行う。 ・ 地域に事業所の存在を知らせるために防災訓練等に参加し利用者様の顔を認知していただくよう計画を立てる。